

怒ッ 怒ッ 怒ッ

民主党に

政府に

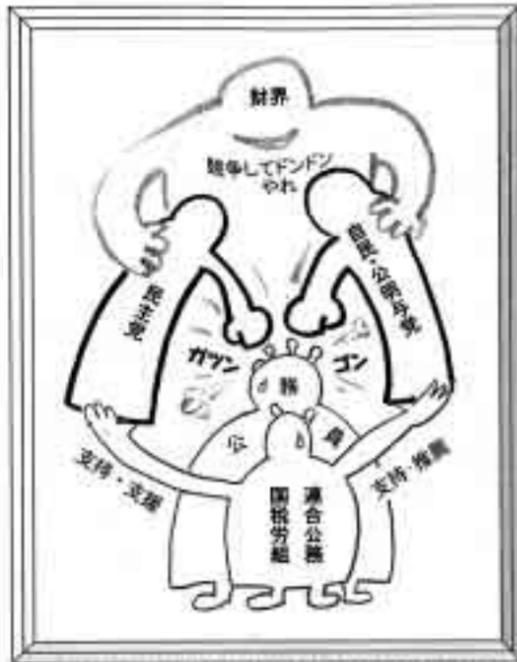
人事院に

拘束時間延長に 怒りブツブツ

民主党がけしかけ、政府が乗っかり、人事院が役目をなげうって改悪をめざす拘束時間大幅延長の動きに、職員が燎原の火のごとく広がっている。特に子育て中の女性たちは、悲鳴にちかい怒りをあらわにしている。全国税は人事院総裁あてのはがきに続き、総裁あての緊急署名に取り組み。改悪阻止のためにできることはやりきろう。

出勤時間は変わらず、退庁時間が一気に30分とか45分も引き延ばされるのだから、まず生活に多大な影響が出る。とりわけ育児、子育てに関わっている職員は深刻だ。

強を見てあげる時間もない。少子化促進政治改革ですね。情報を聞いた女性職員は声をあげた。子育てが終わった女性職員からも「経験上、子育ては大変なことにならぬ。これはひどすぎる」と。強を見てあげる時間もない。少子化促進政治改革ですね。情報を聞いた女性職員は声をあげた。子育てが終わった女性職員からも「経験上、子育ては大変なことにならぬ。これはひどすぎる」と。



公務員攻撃って こんなカンジ 中学3年生 高橋院 野々子



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 岡田 俊明 電話(03)3581-3678 FAX(03)3507-0886 振替口座 00140-2-68514

「非常識追放」 110番 zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場からセクハラやイジメなどの非常識をなくすため、「非常識追放」を常時設置してあります(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

と非難の声が届いた。 国税庁がばげ

国税庁は、「子育てと仕事の両立できる職場環境を整備することは全国組織である国税庁においては正に喫緊の課題であります」(第7回国税審議会での次長表明)と積極的に動いているが民主党と政府は水をかける。国税庁は決意を実現するため、拘束時間延長反対で積極的に動くべきだ。

時代は逆行する人事院と政府に強力に迫って欲しい。全国税は大いに応援したい。

民主党って何様 政府与党以上に過激な公務員攻撃に走っている

緊急取組み みんなの力で くいとめよう

《要求項目》 休憩時間廃止・休憩時間延長による 拘束時間の延長は行わないこと

10月24日、全国税は単独で人事院本院と国税職員の処遇に関する交渉を行った。国専のポスト昇任格差を初めて人事院に問題提起したところ、人事院側・保川専門官は大きな関心を寄せた。以下、交渉の要旨。

全国税 国税庁は本人希望という事で降格人事を大量にやっている。人事院はどう捉えているのか。 実質的処分だ。 人事院 本院は本人の希望だと聞いている。話は担当に伝える。 全国税 中高年処遇停滞で士気も停滞している。打開の道はあるのか。 人事院 8級ポスト適齢期の職員が50歳前後からピークになっている状況は認識している。台地上の幅があり、これまでのペースでは処遇維持は無理だが、上席8級格付けも上下関係で現時点では無理。 全国税 上席を統括と比較するのはなく局の主治と同等に扱って打開すべきだ。上席8級格付け実現なら士気はあがる。 機関紙を見て欲しい(国専と普通科の昇任率比較グラフ掲載紙を渡す)。全国税の調査では国専採用者のポスト昇任

国専格差に関心よせる

交渉 人事院

率比普通科より明らかに悪いし、一定年齢以上の国専は昇任させない政策があるともみえる。庁も調査を約束した。人事院としても調査すべきだ。 人事院 (グラフに関心を示し) 庁と交渉したのか。見させてもらった。 全国税 給与構造見直しで税務も二職も級が統合される。昇格運用はどうなるのか。抜本的に職務表を改正して欲しい。 人事院 統合のところは職務表・資格基準等を見直すのがこれまでと基本的に変わらない。悪くもならないし、良くもならない。行二職も同じだ(前号で既報)。 全国税 給与構造見直しで評価が直結する制度になるが、評価制度は確立されていない。 人事院 みなさんは査定昇給というが、人事院は「新たな昇給制度」と考えている。新評価制度ができるまで、扱いの通達を出したい。評価が下のほうは絶対的基準で、上のほうは例示の形で示し、運用してもらおう。 全国税 税金取りたて競争が懸念される。公務員攻撃に人事院は毅然と対応すべきだ。 人事院 毅然とした態度をとっているはずだ。

要エツク 勤勉手当 標準の勤勉手当=(新俸給月額+役職別加算額*+調整手当額*)×0.75 *役職別加算額=(新俸給月額+調整手当*)×加算割合* *加算割合.....4・5級=5%、6・7級=10%、8・9級=15% *調整手当額=新俸給月額×勤務地の率(扶養手当は入らない) 今回に限り標準の率は0.75ヶ月。低率なら、理由をたどそう。

7場所連続優勝、年間完全制覇、年間84勝という輝かしい成績だ。今場所は13日目の琴欧州戦に黒星を喫したのみである。その琴欧州も大開昇進が決まった。相撲界は景気回復となれば万々歳。それにしてもテレビを見ていて観客の少なさが目についた。若貴人気が満員の時代と比べものにならない。人気だけでなく景気も大きな要因だろう。高い入場料は払えない、平日に休みを取る余裕のある人も少ない。一部の企業は好景気となつて大企業は好景気となつていくが一般の人々にはまったく関係がない。朝青龍の一人勝ちが許せる？が、大企業の一人勝ちは許せない。

詰将棋 出題 九段 西村一義 中級クラス ヒント とどめは角の活用で..... (10分で初段) 持駒 金銀銀

歳出削減あなたがいうのカロ!

10年間に各党が受け取った政党助成金



民主党が公務員給与削減案 人事院 来年勧告に反映

95年から始まった政党助成金の総額が04年までの10年間で3126億円に達したと、総務省が官報で公表した。憲法違反と指摘されているが、共産党以外の各党が、国民の税金を山分けしている実態が鮮明に。歳出削減を叫ぶ公務員攻撃に狂奔する自公民で2300億円の税金を受取っている。

その民主党が、先の国会で人件費削減を狙った国公法改正案を国会に提出した。給与の官民比較調査対象を中小零細企業に広げることを条文と附則に追加したものだ。

これも受けて、人事院は「官民給与の比較方法のあり方に関する研究会」と、「各界有識者」による「給与懇話会」を11月11日に設置した。そして、「来年の勧告に向けて数回開催し、検討結果は試行等を含み、できる限り勧告等に反映させる」と、来年にも勧告に反映させるおそれがある。

10月27日、平均4.8%引下げの給与構造見直しを含む給与改正法案が自民・公明・民主の賛成多数で可決された(共産・社民は反対)。中・高年は来々4月から7%の大幅引下げとなるが、当面は「現給保障」される。しかし、「現給保障は保障なし」になりかねない。来春闘の課題だ。

トヨタの上いく国税庁 人間カンバン方式が最適

内部事務一元化の試行 理想は時間ハリツケ

「理想は何時までこの仕事をやれという、時間単位のハリツケだ。局長の話が頭からは聞けない。日替りとは聞いていたが、内部事務一元化で大変な労働強化になることが容易に想像された。」

「最適化計画」で実行に移される「内部事務一元化」が全国で試行されている。

名古屋の試行署は今事務年度から昭和・豊橋・小牧・静岡・岐阜北の5署となった。新規試行署の職員が局で研修を受けたときの話である。

2度目の現地調査

最先端の試行はなんといつても名古屋局・昭和署である。11月11日、国税本部は書記長と調査部長による2度目の昭和署調査を実施した。事前に21項目の質問書を総務課長に渡していた

第2、第3グループは

「今日は××を何件、を何件入力する」と細かく業務と件数などが報告され、各職員から「今日は何をすればいいのかわからない」という声が出ていく。

局長は「理想は時間単位」といったが、理想ではなく現実がそうやっていく。

「朝礼とホワイトボード」

署の本館1階に管理、個人、資産、法人、源泉の内部担当を集めて3グループに分かれて仕事をしている。第1グループは受付・相談担当、第2と第3グループは各税目の内部事務を共同でこなしていく。

局長は「理想は時間単位」といったが、理想ではなく現実がそうやっていく。

国民大集会 たたかいかい広がる

11月19日、憲法改悪反対、消費税引き上げや給与所得控除削減などによる増税に反対する「国民大集会」が東京・明治公園で開かれた。全国から3万5千人が集会に参加。参加者は4コースに分かれてデモ行進し、道行く人たちにアピールした。

3万5千人が東京・明治公園を埋め尽くす。憲法9条を守るたたかいかい輪が広がる。

数だけ時間指定で納品させる「トヨタのカンバン方式」はつとに有名だが、一元化グループに所属する職員は、「朝礼は細々と報告があり、正直言ってイライラする。割当てられた仕事は時間までにやらなければならず、気を抜く時間もない」と本音をもらす。余裕をふさいでいく仕事のさせ方は、狙いどおりになっている。

近々これを派遣職員主体にする構想だが、効率第一と人間を機械か消耗品のように扱う方向に、明日の未来は見えない。

スキーのつどい 八方尾根でガンガンすべろう

雪がくるぞー 恒例のつどいにぜひ参加を

日時 06・1・27(金)〜30(月)

宿泊 白馬ハイマウントホテル

*申込み 12月中、組合員まで

OBが天下っても

【近畿・北大阪支部】 大阪局は昨年頃から「納税協会」の活性化に向けた拳撃体制の援助を指示している。いくら国税OBが天下っているとはいえず、納税協会「は近畿にしかない民間の公益法人だ。協会」の平成18年度の税制改正要望事項には、大衆課税の強化、高額所得者への減税などがある。納税者の苦情に同情する今日この頃、それに反する団体の応援をするのは、気が重い。

【関西・A分会】 11月上旬、職場の青年から「機関紙作成に使って」とカット集のプレゼント。(分会で作っているんですよ)

【近畿・京都支部】 総務から管理に変わったアルバイトさん。自分の名前を名乗って「消費税の振替勸奨の電話をさせられている。電話で(税金泥棒とか)きついことを言われたのか?4時に「ムカッ」と言っただけだった。この人は「外部と接触のない仕事で」との約束で応募。職場では「無茶苦茶やな」との声が



夕方、みんな無口

【東京・江東分会】 本格的な年末調整の季節がやってきた。内務担当への電話は、配偶者パートと借借証明(紛失や転職などによる再発行と書き方)の話ばかり。来客も再発行にポツポツと途切れることがない。証明の再発行は閲覧以上に時間がかかるので大変。発行の都度、公印を押すため総務に行ったり来たりも……。ホッと席に座り、端末を叩き始めた途端に電話が鳴る。カウンターに夕方になるとみんな無口に……。笑いをとるはず。も分かるはず」と研修なし。ロケーションは組まれても本来の仕事は減らず一元化事務は丸々上乗せ。一元化で楽になつた仕事はない。やらなければ、という出口の見えない仕事。一元化担当職員は顔つきが変わっている。

【北海道・道東支部】 釧路署では、納税証明・窓口事務一元化の試行中。「税務職員なら申告書の作成はでき

青年からプレゼント

【近畿・京都支部】 総務から管理に変わったアルバイトさん。自分の名前を名乗って「消費税の振替勸奨の電話をさせられている。電話で(税金泥棒とか)きついことを言われたのか?4時に「ムカッ」と言っただけだった。この人は「外部と接触のない仕事で」との約束で応募。職場では「無茶苦茶やな」との声が



詰将棋

解答 ●2一銀△1三玉
 ●2二銀△同玉 ●1一玉
 △3一玉 ●3二銀成△同玉
 ●4三角成△3一玉 ●2一金まで11手詰
 解説 3手目 ●2一銀が好手。△2四玉なら ●2五玉まで。7手目 ●3二銀成が味のよい決め手で、以下、角の活用でピツタリ。